

基地撤去をめざす 県央共闘

* ↑タイトル・題字募集中

NO. 3

2008.9.1

発行：原子力空母の母港化に反対し

基地のない神奈川をめざす県央共闘会誌

〒242-0028 大和市桜森 3-5-3 7号1F

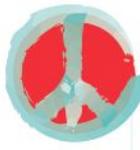
事務局連絡先T:042-752-4544 F:753-4725

E-mail:wm5h-urn@asahi-net.or.jp

編集責任者 檜鼻達実

原子力空母ジョージタウンが 横須賀を母港化したら……

原子炉が事故によって損傷し、放射能が漏れたら、被害は県内どころではありません。厚木基地周辺の爆音被害は恒久化します。私たちは、騒音のない静かな空を取り戻したいのです。



ピースフェスティバル '08 in 大和・綾瀬
10月26日(日) AM10:00~PM3:00

アジアに平和を！
静かな空を！

NO!
WARS
Peace Festival in YAMATO・AYASE '08



出演者
佐藤 通弘
(津軽三味線)
寿 Kotobuki
(沖縄島唄)
打鼓音
(創作和太鼓)
fob (フォブ)
(ジャズ&ポップス)

会場／大和駅東側プロムナード
主催／2008ピース・フェスティバル in 大和・綾瀬実行委員会

静かな空を取り戻そう。そう考えたこの平和の集いも今年で7回目。私たちは武器に頼らず、アジアの人々との出会い、交流を通じた平和と静かな空を実現させたいと願い、この集まりを続けてきました。平和を願うおおぜいの市民によるまつりです。ご家族と一緒に、平和について考え、ゆっくりと楽しめる場です。ぜひ大和駅前にお集まり下さい。

模擬店コーナー

沖縄物産、カレー、焼きそばなど、掘り出し物一杯！
模擬店募集中！9月末まで
※お申し込みは
TEL：042-752-4544まで

アジアの平和と 基地問題を考える パネル各種

厚木基地の大型模型写真で見える爆音反対運動、他

ピースコンサート

今年は、全国津軽三味線大会二年連続優勝をへて海外でも広く活躍する佐藤通弘氏が特別ゲスト。心に響く音とメッセージあふれる無料コンサートです。

プログラム用名刺広告・模擬店募集中！

■茶番劇で汚された民意■

— あらためて問われる「地方自治の本旨」—

茶番劇のはじまり—7月28日開催された座間市連絡協議会(会長・星野市長、以下「市連協」)のてん末は、傍聴していた市民には、予想だにしないものとなった。その時の衝撃を毎週水曜日の午後、キャンプ座間正門でアピールしてきた「バスストップから基地ストップの会(以下、ストップの会)」の原事務局長は、その時の状況をメールで、「星野!ブルータスお前もか!」と記述している。

「ストップの会」にとってこの日は、9月14日に告示される座間市長選の立候補者に、公開質問状を届ける予定をしていた。しかし、26日に一通のFAXが送信されてきた。「28日(月)午後7時より市連協の臨時総会が開かれる。」それは、「南関東防衛局から基地恒久化解消に対する方策についての回答を28日に提示するから」とのことであった。

市連協に先立って、午後4時から開かれた役員会。傍聴をめぐって事務局に集まった市民を全員傍聴させるとの要求で、20人全員が傍聴。事務局(渉外課長)より、28日に南関東防衛局より回答があるとの連絡があった。そして、本日の午後2時に示された回答が読み上げられた。①国は市民に対し、新たな不安になることは認識している。②覚書を履行するため、防衛省と座間市は、「キャンプ座間に関する協議会」を設置する。との内容であった。

出席した役員から、「拒む必要はない」「国の提案を無にしてはいけない」という意見の一方、これまで市議会で反対の立場を表明してきた議員から、「早急に決める必要はない」「市民への周知が必要」と意見が述べられる。まとまらないまま閉会し、7時から市連協臨時総会が開催された。傍聴人は、40人まで膨れあがった。

事務局より先述と同様の説明があった後、質疑に移った。市長は、「司令部機能移駐の議論は自治体の権限を越える」と発言。これまで基地問題で繰り返される首長の言訳だ。先述した「ブルータスお前もか!」と、思わず叫びたくなるシーンである。そして、「締結は私の手によってしたい」と。それは、反対を貫ら抜こうとした市長が幕引きを自らの手でやりたいとの決意というより、後継市長への気遣いでしかない。その後のやりとり、てん末について、原さんのメールを再掲したい。

- ・「市民の意見を聞く場を設けるべき」(〇〇議員)、「設置を評価」(〇〇議員)、などなど・・・この緊迫感と失望感と憤慨は傍聴の特権だが、歯がゆさ、そして悔しさ、涙・・・
- ・「懸垂幕を降ろして国との確認書に合意すべき」(〇〇議員)、そのほか自連協の原稿を読んでいるとしか思えない「この間よくやった、4年の運動の成果だ」「無にしてはならない」コールに続き、〇〇議員が「審議打ち切り、採決」。
・・・〇〇議員が「採決」を促して何やら言っていたようだ・・・なんかこの部屋(市役所5F会議室)のエアコンは切られたのであろうかとても息苦しい・・・「拙速」の議論がありながら、どうでもいいやとなりそう・・・それをグッとこらえていると、
- ・星野市長が「審議打ち切り」の採決をすると言う。さすがに良い子になっていた傍聴者からも漏れ出るブーイング。
- ・審議打ち切り、賛成多数(34/42)可決!
次に市長は、今まで出た意見を一括採決するという。いくつかも意見があったのに、どれを指しているの?わからないまま、ブーイングがあるなか、休憩が必要との声の中の採決、可決。そして、市長は個別(採決)に移ると言う。もう、休憩が必要の声も掻き消されての採決。国の提案の「協議会」の設置受け入れ・・・可決(私は事態をうまく飲み込めず、数を確認できなかった)市連協(反対協議会)解散・・・挙手30人 可決。
懸垂幕・横断幕等の設置取り下げ・・・挙手28人 可決。
市民周知のための集会・・・挙手7人 否決。

役員会でこれら採決は議題にならず、されず、話し合いはされていない。ブラサガリの市長記者会見で市長は「私が決めることではない、(反対協議会のなかでの)率直な意見交換の中で決めたい」と言った。

役員会の役目を果たすことが許されない役員会。その上に開かれた臨時総会での審議打ち切りと、数だけを目的とした採決。これを民主主義と言うのか?民意はどのように反映されたのか?

7月29日、朝刊各紙は「市民との連携 一瞬で幕」(東京)、「座間市が事実上容認」(神奈川)、「わずか2時間で幕」(神奈川)、「柔軟姿勢に転換」(朝日)と報じた。30日、星野市長は、石破防衛大臣を訪ね、常設の協議機関の設置を受け入れることを報告。その後、支給対象外にしている再編交付金が支給されることが決定した。

「バスストップの会」は「～再編交付金はたった10年のものです。～安心して暮らせる安全な街づくりを望んでいます。これからも共に次世代への責任を果たしていきましょう。」の声明を発した。

8月4日、座間市長選立候補者にあらためて、基地問題について公開質問状を送付した。

※この原稿は、原さんのメールを参照し作成したものです。(文責:檜鼻)

確認書

平成18年5月30に閣議決定された「在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取組について」において具体的な措置として着実に実施していくものとする事とされたキャンプ座間における在日米陸軍司令部の改編等については、国は、司令部機能が強化され座間市及び同市市民に対する新たな負担となるものと認識している。

そこで、昭和46年6月25日付け覚書（横浜防衛施設局長（当時）と座間町長（当時）が取り交わしたものをいう。以下「覚書」という。）において、防衛省が座間市に対し誠実に履行すると約したキャンプ座間の基地縮小など、座間市及び同市市民の負担の軽減策等責任をもって履行するため、防衛省と座間市は、継続的・定期的に両者が協議を行う場を設置することに合意し、ここに確認する。

記

（目的）

第1条 防衛省は、座間市が市総合計画の中で基地の整理・縮小・返還を掲げている基本姿勢である市是を真摯に受け止め、その着実な具現化を図るべく同市に対し誠実に履行すると約している覚書及び負担の軽減策等を責任をもって履行するため、防衛省と座間市が協議するものとする。

（設置）

第2条 防衛省と座間市は、覚書及び負担の軽減策等を防衛省が誠実に履行する責務を有することを相互に確認し、その実効性を確保するため、今般の米軍再編を契機とし、負担の軽減策等について協議を行う「キャンプ座間に関する協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）

第3条 協議会は、次の事項について協議する。

- （1）市是の着実な具現化を図るべく座間市に対し誠実に履行すると約している覚書に関する事
- （2）座間市及び同市市民の負担の軽減策等に関する事
- （3）その他特別の事情が生じ協議すべきと認められる事項

（構成）

第4条 協議会に代表幹事会を置く。また、代表幹事会の下に幹事会を置く。

- 2 代表幹事会及び幹事会の構成員は、防衛省、座間市それぞれが指名し、別途定めるところによる。

（開催）

第5条 代表幹事会及び幹事会の開催は次のとおりとする。

- （1）代表幹事会は年1回を原則とする。
- （2）幹事会は年4回を原則とする。
- （3）代表幹事会及び幹事会は、必要に応じ開催することができる。

（雑則）

第6条 代表幹事会及び幹事会の運営に関し、必要な事項は別に定める。

（その他）

第7条 本確認書の疑義又は定めのない事項が生じたときは、確認者は誠意をもって協議し、解決を図るものとする。

平成 年 月 日

防衛省

座間市長



8月20日、相模補給廠監視団は、高機動多目的装輪車(ハンビー)が80台補給廠に搬入されていることを明らかにした。銃座用機材が装備されている車両もあり、昨年12月キャンプ座間に発足した第一軍団前方司令部移駐に伴うものと思われる。米軍再編では、補給廠内に戦闘指揮訓練センターを10年9月迄に建設することになっている。こうした車両配備は、単なる兵たん基地から戦場に直結した基地に変貌していく現れである。

9.19 (仮) 原子力空母母港化阻止 米軍の前線基地化を許すな 横浜(神奈川)集会へ

日時 **9月19日(金) 18:30~**
 場所 **大通り公園・石の広場 (関内駅下車)**
 主催 **神奈川平和運動センター・県央共闘他**

8月21日、修理中であった原子力空母ジョージワシントンが、横須賀に向けて出港した。米軍再編・基地強化に「基地の恒久化解消策が示されない状態」での第一軍団、自衛隊の移駐には、反対の立場を表明していた星野市長は、「国と市との協議機関を常設」することで合意し、容認の姿勢に転じた。横須賀、キャンプ座間、相模補給廠等の日米軍事一体化に連携と基地強化が進められることとなり、既に司令部も発足。ハンビーの搬入等、着々と前線基地化がされようとしている。この動きを私たちは許すことはできません。

基地のある街、爆音被害のある街を私たちは平和な街に変えていく必要があります。是非、参加下さい。

当 面 の 行 動 予 定

- 8月30日(土) 午後4時30分 **今こそ、爆音を止めろ！母港化返上！8.30大和集会(勤労福祉会館)**
- 9月6日(土) 午後6時15分 **全国基地爆音訴訟原告交流集会(大和市保健福祉センターホール)**
- 9月19日(金) 午後6時30分 **(仮) 9.19 原子力空母母港化阻止米軍の前線基地化を許すな横浜集会(大通り公園)**
- 9月20日(土) ~ 24日(水) 原子力空母の横須賀母港化に反対する座り込み行動(ヴェルニー公園)
- 9月24日(水) 午後2時00分 ↑座り込み行動の集中日(ヴェルニー公園)
- 9月21日(日) ~ 23日(火) **違法爆音の恒久化に反対する座り込み・怒りの炎行動(詳細別途)**
- 9月25日(木) 早朝/入港時間 **入港時の阻止行動(うみかぜ公園・横須賀中央駅下車15分)**
- 9月25日(木) 午後6時30分 **原子力空母の横須賀入港に抗議する全国集会(ヴェルニー公園)**